

事務事業名	道整備推進交付金事業	所属部	建設部	所属課	建設工務課				
総合計画体系	政策名	〈Ⅱ〉安全・安心で快適なまち〈定住環境〉		所属G	公共土木G				
	施策名	〈12〉道路の整備		担当者名	内田慎二				
	目的: 対象	市民	意図	市内及び市外へ安全で便利に移動できる。					
	基本事業名	〈035〉道路の維持管理		電話番号	0854-40-1063				
目的: 対象	道路利用者	意図	安全に移動できる。		(内線) 2471				
		予算科目	会計	款	大事業	大事業	事業名		
			0	1	4	0	0	3	市道道路整備事業
			項	目	中事業	中事業	事業名		
			1	0	1	5	0	8	道整備推進交付金事業

1 現状把握【DO】

(1) 事業概要

① 事業期間
<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (年度 ~)
<input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (H29 年度 ~ R3 年度)
② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)
落石対策により危険箇所を取り除くことで通行者の安全を確保する。広域農道整備と連携して観光施設アクセス道路の整備を実施する。 H29年度からR3年度の5年間で事業完了の予定であったが、R3年度に計画変更し、R4年度に完了する。

(2) 事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動	R2年度実績 (R2年度に行った主な活動)	R3年度計画 (R3年度に計画する主な活動)			
	4年目	・川井箱淵線伐採処理業務 ・川井箱淵線落石対策工事 ・川井箱淵線舗装工事	・川井箱淵線伐採処理業務 ・川井箱淵線落石対策工事 ・川井箱淵線舗装工事			
5年目						
	② 活動指標	単位	H30年度 (実績)	R元年度 (実績)	R2年度 (実績)	R3年度 (計画)
ア	路線数	路線	1	1	1	1
イ	箇所数	箇所数	3	2	3	3
ウ						
エ						

(3) 事務事業の目的・指標

目的	① 対象 (誰、何を対象にしているのか)	市道及び市道利用者	③ 対象指標	単位	H30年度 (実績)	R元年度 (実績)	R2年度 (実績)	R3年度 (計画)	
			ア	人口【国勢調査(推計)】	人	37,012	36,248	36,024	35,818
			イ	雲南市市道延長	km	1,112	1,111	1,108	1,108
			ウ						
	② 意図 (対象がどのような状態になるのか)	道路利用者の利便性を高め、住民生活の向上を図る。	④ 成果指標	単位	H30年度 (実績)	R元年度 (実績)	R2年度 (実績)	R3年度 (計画)	
			ア	生活道路が安全で便利だと感じている市民の割合	%	68.5	63.3	65.2	65.2
			イ	生活道路で危ない場所があると感じている市民の割合	%	64.6	72.3	65.7	65.7
			ウ	施工箇所	箇所	1	2	2	2

(4) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (2年度決算)	② コストの推移	単位	H30年度(決算)	R元年度(決算)	R2年度(決算)	R3年度(計画)	
【委託料】 川井箱淵線伐採処理業務 1,120千円	財源内訳	国庫支出金	千円	7,968	9,701	17,500	9,314
【工事請負費】 川井箱淵線落石対策工事 31,117千円 川井箱淵線舗装工事 2,764千円		県支出金	千円				
【需用費】 消耗品費 593千円		地方債	千円	11,500	10,000	17,100	9,100
【地方債】合併特例債		その他	千円				
		一般財源	千円	682	597	994	514
		事業費計 (A)	千円	20,150	20,298	35,594	18,928
	人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	
		延べ業務時間	時間	150	150	150	
		人件費計 (B)	千円	650	636	631	
		トータルコスト(A)+(B)	千円	20,800	20,934	36,225	

(5) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどうか変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
H29年度から事業を実施しており、R4年度に事業完了する予定である。普通建設費並びに起債借入額の抑制により事業費の確保が困難となってきた。	設計時に工法検討によるコスト削減を図り事業費の抑制に努めた。計画変更で舗装修繕を行い、通行者の安全確保を図る。	・市民から落石・舗装修繕を行うことにより喜びの声がある。 ・早期完了し安全確保が必要。

2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性	この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？ <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている * 余地がある場合 →	見直し余地があるとする理由
	② 公共関与の妥当性	なぜこの事業を市が行わなければならないのか？ 税金を投入して達成する目的か？ <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である * 余地がある場合 →	
	③ 対象・意図の妥当性	対象を限定・追加する必要はないか？ 意図を限定・拡充する必要はないか？ <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である * 余地がある場合 →	
B 有効性	④ 成果の向上余地	成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方ははないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？ <input type="checkbox"/> 向上余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない 理由	地方創生道整備推進交付金で危険箇所を取り除くことにより、地域住民の安全はもとより観光客の安全確保、農産物や畜産物の効率的な輸送や生活道路の確保、通勤通学の安全を図る。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？ <input type="checkbox"/> 影響無 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 理由	交通の円滑化や安全性の向上に寄与することから、事業中止による住民生活への影響は大きい。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性	目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？ <input type="checkbox"/> 他に手段がある * ある場合 → (具体的な手段や類似事業名) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない 理由	各事業の整備目的が異なるため、農道事業との整備事業であり、統廃合は難しい。
C 効率性	⑦ 事業費の削減余地	成果を下げずに事業費を削減できないか？ (仕様や工法の適正化、住民の協力など) <input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 理由	道路の規格・構造は一定の基準に基づいて設計しており、工法についても比較検討のうえ採用している。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？ <input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 理由	設計測量については業務委託をしているが、用地買収や工事費積算は守秘義務があり困難である。
D 公平性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地	事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？ <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である 理由	道路は不特定多数の市民が利用する施設であり、利用者を特定した受益負担は求められないことから公平・公正である。
評価 の 総 括	① 1次評価者としての評価結果		② 1次評価結果の総括(根拠と理由) 地方創生道整備推進交付金で危険箇所を取り除くことにより、地域住民の安全はもとより観光客の安全確保、農産物や畜産物の効率的な輸送や生活道路の確保、通勤通学の安全を図る。
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	B 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	

3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	② 改革・改善による期待成果																					
地方創生道整備推進交付金で危険箇所を取り除くことにより、地域住民の安全はもとより観光客の安全確保、農産物や畜産物の効率的な輸送や生活道路の確保、通勤通学の安全を図る。	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		●	×																		
	低下		×	×																		
<small>廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。</small>																						